

わが社の 新工場

Our company
金田自動車

トラック整備工場を新設し、サービスを拡大



5月から稼働している
新工場

トラック販売や整備、廃車解体などを手掛ける金田自動車（本社・旭川市）は、5月から「トラック整備工場札幌店」（江別市角山426・14）で新工場を稼働

させている。新工場は既存の工場の隣に位置し、同社の「BP架装工場」（旭川市）と同様のフレーム修正機を導入。トラックのゆがみやねじれなどを修正する。トラック・建機用の塗装ブースも備えており、全塗装や事故車両、古い車両のリフレッシュも可能だ。

また、札幌圏の整備工場では初となる最新のDPF（ディーゼル排気微粒子除

去装置）洗浄装置「エキゾストリーム」を導入。排ガス装置の洗浄により、燃費効率の向上や故障防止に寄与する。



札幌圏で初導入のエキゾストリーム

7月26・27日には、工場の一一般公開を兼ねたイベント「トラックフェス」を開催。多くの来場者を集めた。

9月25日には、札幌市中央区の老人福祉センターで無料の終活セミナーも開催予定しており、参加を呼びかけている。

が贈られた。北海道キリンビバレッジの岡本社長は「飲料を通じて次世代を担う子どもたちの育成支援や、道民のみなさまの健康支援を行い地域に貢献できれば」と話した。



函館港小学校で行われたベルマーク寄贈式

武蔵女子でシャウエッセンを無料配布

北海道武蔵女子大学と北海道武蔵女子短期大学は、7月8日、9日の2日間にわたりキャンパスで「朝食促進プロジェクト」を実施した。課題やアルバイトなどで忙しい若い世代に向けて、朝食をとる習慣を促す取り組みの



ゆでたてのシャウエッセンを無料で配布した

1つ。札幌市役所と日本ハムとの産官学の連携のもと、ウインナーの「シャウエッセン」が3600本提供された。学生有志が呼びかけや運営を担当したことも特徴で、SNSを使ったPRも行った。

当日は、朝9時30分から12時にかけて構内ロビーに特設ブースが設置。その場でシャウエッセンをボイル調理し、学生らに振る舞った。

同大学広報は「今後も学生の生活習慣改善をサポートしていきたい。また学生の成長と地域活性化も目指しており、企業や行政と連携したイベントや商品開発も進めていく」と語った。

望月雅博社長（左）と秋元克広札幌市長



同日には、函館市立港小学校で贈呈式も行われ、函館市立港小学校から2社へ感謝状

表の念願だった独立が形となった士業事務所だ。生まれは三重県で、岐阜市の短期大学を卒業後に地場大